

第22回ITER理事会の開催結果について

平成30年7月



文部科学省



MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

第22回ITER理事会の日程及び議題

日程： 2018年6月20日（水）～21日（木）

場所： ITER機構本部（フランス・カダラッシュ、サン・ポール・レ・デュランス市）

議長： スリヴァスタヴァ インド原子力委員会事務局長

出席者：

日本：伊藤 文部科学審議官 ほか

欧州：トーマス 欧州委員会エネルギー総局副総局長 ほか

米国：ビンクリー エネルギー省科学局副局長 ほか

ロシア：ボロフコフ ロシア連邦政府国防産業委員会委員長 ほか

中国：黄（ホアン） 科学技術部副部長 ほか

韓国：崔（チエ） 未来創造科学部宇宙・原子力・巨大科学政策局局長 ほか

インド：グローバー 原子力委員会委員 ほか

ITER機構：ビゴ機構長、多田副機構長、李（イ） 副機構長 ほか

議題：

- (1) 開会挨拶（議長、各極代表、機構長）
- (2) ITER計画進捗報告、諮問委員会等からの報告
- (3) ITER計画事業マネジメント
- (4) ITER機構の予算（2018年予算執行状況、2019年予算案等）
- (5) その他

第22回ITER理事会の結果概要

(1) ITER計画の進捗等について

- 2025年運転開始スケジュールを確実にすることを目的として、主要機器の納入スケジュールの見直し等による建屋建設の遅延リスク緩和を行う[改訂建設戦略](#)が、ITER機構内における詳細な検討、研究者及び技術者の委員会における「技術的に可能」との評価を踏まえ、ITER機構から提案されたが、2016年11月に暫定合意されたコストの範囲内である旨確認された上で、[承認](#)された。
- また、ITER計画が厳しいスケジュール要求と挑戦的な技術要求にも関わらず、[2025年の運転開始に向けて様々なリスクに対処しつつプロジェクトが着実に進捗](#)していることが確認された。

(2) ベースライン2016の最終合意について

- 2016年11月のスケジュール見直しに伴うコスト増（暫定合意中）については、[米国、インドがそれぞれ国内調整中](#)であることから、[次回以降のITER理事会において最終合意のための議論](#)が行われることとなった。

(3) 次回の日程について

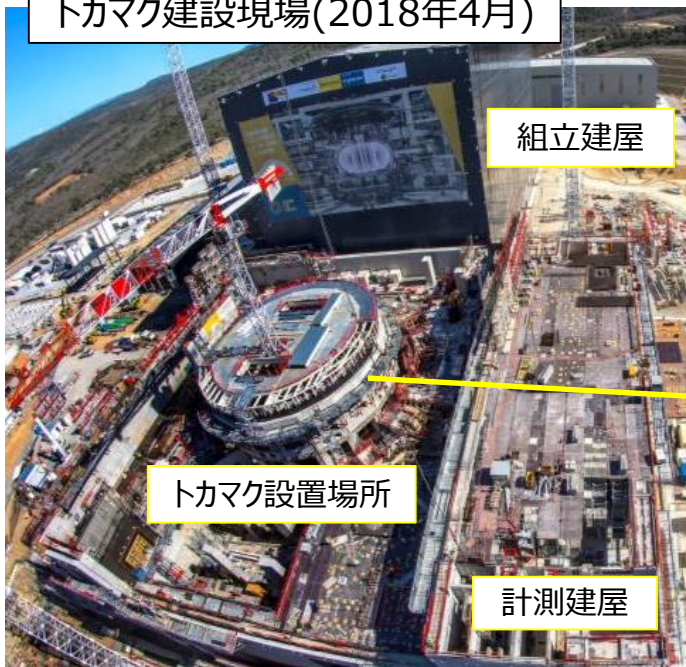
- 第23回ITER理事会は、2018年11月14、15日に仏・カダラッシュで開催予定。



I T E Rサイトの建設状況等

- I T E R 建設サイトでは、トカマク本体を囲う遮蔽壁の土木作業が完了し、周辺施設（計測建屋、トリチウム建屋等）の建設、電源設備・冷却設備の搬入及び設置等の建設活動が進捗。
- 2018年6月20、21日に開催された第22回 I T E R 理事会では 2025年運転開始（ファーストプラズマ） に向けて着実に建設作業が進捗していることが確認された。

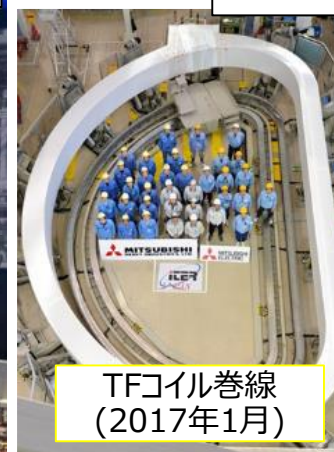
トカマク建設現場(2018年4月)



トカマク設置場所(2018年4月)

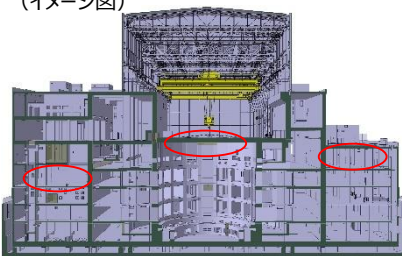


日本の機器製作



(2015年4月)

(イメージ図)



トリチウム建屋 本体建屋 計測建屋



(2016年4月)

